

2018年6月14日

各 位

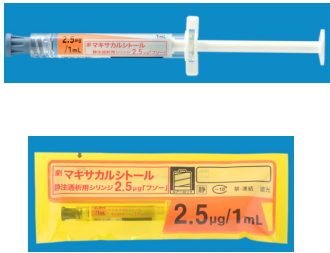
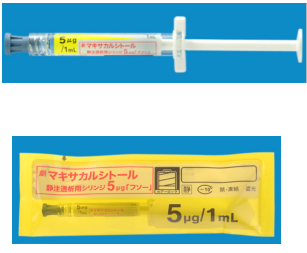

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 1 0 7 7

## 『マキサカルシトール静注透析用シリンジ 2.5 $\mu$ g「フソー」』 『マキサカルシトール静注透析用シリンジ 5 $\mu$ g「フソー」』 のオーダ開始について

二次性副甲状腺機能亢進症治療剤『マキサカルシトール静注透析用シリンジ 2.5 $\mu$ g「フソー」』『マキサカルシトール静注透析用シリンジ 5 $\mu$ g「フソー」』（扶桑薬品）は薬事委員会にて、『マキサカルシトール静注透析用 5 $\mu$ g「トーワ」』（東和薬品）と交換採用となりました。

**平成30年6月14日（木）より『マキサカルシトール静注透析用シリンジ2.5 $\mu$ g「フソー」』『マキサカルシトール静注透析用シリンジ5 $\mu$ g「フソー」』のオーダを開始し、『マキサカルシトール静注透析用 5 $\mu$ g「トーワ」』は当院取扱いを中止します。**

	オーダ開始		オーダ中止
オーダ名	マキサカルシトール 静注透析用シリンジ 2.5 $\mu$ g「フソー」	マキサカルシトール 静注透析用シリンジ 5 $\mu$ g「フソー」	マキサカルシトール静注透析用 5 $\mu$ g「トーワ」
規格	2.5 $\mu$ g/mL/シリンジ	5 $\mu$ g/mL/シリンジ	5 $\mu$ g/mL/アンプル
成分名	マキサカルシトール		
適応症	・維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症：		
用法用量	透析終了直前に1回 2.5～10 $\mu$ gを週3回、透析回路静脈側に注入（静注） 血清副甲状腺ホルモン（PTH）の改善効果が得られない場合は、高カルシウム血症の発現等に注意しながら、1回 20 $\mu$ gを上限に慎重に漸増		
外観 写真			
区分	注射 平成30年6月14日（木）よりオーダ開始		平成30年6月14日（木）よりオーダ中止

\*詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

\*「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。